

第6回 日本安全運転医療学会学術集会 報告

佐伯 覚

The Report of the 6th Annual Meeting of the Japanese Society of Safe Driving and Medical Conditions

Satoru Saeki

産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座

Dept. of Rehabilitation Medicine, University of Occupational and Environmental Health

2022年12月17日(土)、北九州国際会議場(福岡県北九州市小倉北区)におきまして、第6回日本安全運転医療学会学術集会を「安全な交通社会を支える多職種の連携」をテーマに開催いたしました(図1)。同年4月に、前身の日本安全運転医療研究会が学会へ組織変更して初めての記念すべき学術集会となりました。新型コロナウイルス感染症蔓延のために現地開催が危ぶまれましたが、会員をはじめ関係者の皆様のご支援もあり現地での開催にこぎつけました。

当日は、医療、教育・研究、自動車教習所、行政ならびに企業の方々など各専門領域より、259人の方にご参加いただくことができましたこと、ひとえに会員の先生方のご支援の賜物であり深く感謝申し上げます。本学術集会は、下記の一覧表にありますように、会長講演、特別講演2演題、教育講演2演題、シンポジウム2セッション(合計9演題)、そして一般演題40演題のご発表をいただきました(図2、表1)。

筆者による会長講演では、安全な運転技能評価の方法の確立を進める一方、免許を失う障害者の支援の方法について社会全体として議論してゆく必要性を述べました。特別講演1では永井先生より、交通事故死者ゼロに向けた運転の自動化の取り組みや車両の安全技術のプロジェクトの紹介がありました。特別講演2では目黒先生より高齢者、初期認知症疾患の特徴や運転に係る視覚性機能などの先進的な知見についてお話を頂きました。教育講演1では

武原先生より、道路交通法改正にともなう運用や解釈について詳細な説明があり、教育講演2では眼科医である村上先生より、視覚機能の検査や、緑内障と自動車運転の関係性などについて大変わかりやすく説明を頂きました。シンポジウム1では、多職種の連携をテーマに、それぞれの専門の立場から現在の取り組みや協働の仕方など、積極的な議論がなされました。シンポジウム2では、全国各地の地域レベルの取り組みとして、自動車運転の再開評価や支援、交通弱者に対する支援の方法などが紹介され、今後の取り組むべき課題などが整理されました。紙面の都合で一般演題40題の内容の紹介は割愛いたしますが、今回ポスターセッションをなくし、感染対策とSDGs(多量のポスター紙廃棄)の観点からすべて一般口演といたしました。戸惑われた発表者も多かったことと存じますが、一般演題の2会場とも立ち見が出るほど盛況であり、熱のこもった活発な議論がなされました。

最後に、本学術集会に対し、北九州市、(公財)北九州観光コンベンション協会、株式会社医学書院、帝人ファーマ株式会社、オージー技研株式会社、有限会社荒井義肢製作所、有限会社中武義肢製作所、株式会社全日本病院出版会、株式会社ツムラ、インターハ株式会社、株式会社有菌製作所、医歯薬出版株式会社、有限会社フジコン九州(フジオート)、新興医学出版社、シスネット株式会社(順不同)の協賛を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。



図1 学術集会ウェブサイト

図2 特別演題の様子

○会長講演	障害者の社会参加と自動車運転	佐伯 覚	産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座
○特別講演Ⅰ	交通事故死者ゼロに向けた包括的アプローチの必要性	永井 正夫先生	東京農工大学名誉教授、日本自動車研究所顧問
○特別講演Ⅱ	高齢者の認知機能低下と運転能力	目黒 謙一先生	東北大学 未来科学技術共同研究センター 高齢者高次脳医学研究プロジェクト
○教育講演Ⅰ	道交法改正と東京都医師会の活動	武原 格先生	東京都リハビリテーション病院リハビリテーション科
○教育講演Ⅱ	自動車運転と眼	村上 美紀先生	むらかみ眼科医院
○シンポジウムⅠ ～脳障害者の自動車運転再開における多職種の連携～	医療機関の医師の立場から	牛場 直子先生	世田谷記念病院リハビリテーション科
	医療機関の作業療法士の立場から	生田 純一先生	農協共済中伊豆リハビリテーションセンター作業療法科
	自動車教習所の立場からみた医療機関との連携～実車教習の実際と今後の課題～	重松 宏昭様	アイルモータースクール
	免許センターの医療従事者の立場から	佐藤 美穂様	福岡県警察本部交通部運転免許試験課
○シンポジウムⅡ ～地域での運転・移動に関する支援～	福島県郡山地区での自動車運転再開支援：実車評価と実車リハビリテーション	豊倉 穰先生	東海大学大磯病院リハビリテーション科
	群馬県における自動車運転支援の取り組みと今後の課題	伊部 洋子先生	群馬大学医学部附属病院リハビリテーション科
	兵庫県総合リハビリテーションセンターにおける実車評価の歴史と運転再開後の安全運転状況	富士井 睦先生	兵庫県立リハビリテーション中央病院 リハビリテーション科
	東京都での取り組み～「行きたいところへ行く」を実現するために～	永島 匡先生	株式会社 Reha Labo Japan リハラボ訪問看護リハビリステーション町田
	高齢者モビリティの予防的支援 ～千歳市高齢ドライバーサポート事業～	佐々木 努先生	北海道千歳リハビリテーション大学作業療法学専攻

表1 特別演題一覧